

2008 年度

科目名	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者
美術史		小林 典子
授業テーマ 絵画鑑賞入門ールネサンスから現代までー		
授業の概要と目標 ギリシア以来、西洋美術の長く豊かな歴史の流れのなかでも、とくにルネサンス以降は多くの天才芸術家を生みすばらしい作品の数々を残しました。けれどもわたしたちは、それらの作品に接する時、その魅力には感動するけれども、何かもうひとつよく解らないという不満をもつことがよくあります。それは一体なぜだろう。すぐれた作品にアプローチするためには、それぞれの作品に即した解説方法を学ぶことがぜひとも必要です。この授業では、西洋美術の伝統を築いたルネサンスから現代までの代表的な名画をとりあげ、鑑賞に必要な基礎知識と分析の仕方を、スライドやビデオを見ながら学習します。		
評価方法 授業への参加意欲や小レポート 40% 期末レポート 60%		
テキスト 『名画を見る眼』『続名画を見る眼』	著者 高階秀爾	出版社 岩波書店
参考書 授業中に適宜指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 [前期授業] 1.開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション 2 「絵画を読む」 3. ヤン・ファン・エイクと《アルノルフィニ夫妻の肖像》 4.ヒエロニムス・ボス／＜メメント・モーリ＞ 5.ボッティチェリ《春》 6.レオナルド・ダ・ヴィンチ《モナ・リザ》 7.ラファエッロ《小椅子の聖母子》 8.イタリア・バロックと天井画 9. ベラスケスとゴヤ 10. フェルメール《画家のアトリエ》 11 「絵画の文法を知る」 12 クールベとミレー 13 マネ《オランピア》とスキャンダル 14,15 まとめ [後期授業] 1 開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション 2 続「絵画の文法を知る」 3,4 印象派の誕生：モネ《印象・日の出》 5.ルノワール《ピアノの前の少女たち》 6セザンヌ《温室のなかのセザンヌ夫人》 7.ファン・ゴッホ《アルルの寝室》 8.ゴーガンとスーラー 9.アール・ヌーボーとミュシャ／ガウディ 10.ダリとシュルレアリズム 11.マティスとピカソ 12.抽象絵画への道：カンディンスキーとモンドリアン 13.デュシャンから現代絵画へ 14,15 まとめ		